

あんなこと、そんなこと、こんなこと

校長 工藤 誠志

私は、校内を巡って、どんな授業をしているのか、子供がどんな取り組み方をしているのか、困っていることはないかと、授業や指導の場面を見せてもらっています。

小学部では委員会活動の一環として、給食の献立の放送をしています。この放送が終わると、教室から拍手が響いてきます。称賛の拍手です。隣の教室からも聞こえてきます。上手に話せたからです。その拍手を聞いて放送した6年生Aさんも満足そうです。私は、この場面に居合わせたことにとてもうれしくなりました。



また、5年生のBくんは、片仮名の料理名や聞き慣れていない料理名が献立だったこともあり、少しつまずきながらの放送になってしまいました。それでも最後は、放送担当者である自分の名前だから元気に話せました。しばらくして私は、教室に行って担当の子供に「頑張って読めましたね。もっと練習すると上手になりますよ。」と話すと、「ありがとうございます。」と元気に答えてくれました。昨年度までは挨拶はしていましたが、丁寧に落ち着いた挨拶ができるようになったことから成長を感じました。



さらに、中学部の給食の様子を見に行くと、私の姿を見つけた3年生Cくんが、「あっ、来た！」と声を上げました。すると担任の先生から「『こんにちは。』ですよ。」と言葉掛けがありました。数日後に同じ教室の入口に立つと、同じ生徒が「校長先生、こんにちは。」と挨拶ができました。Cさんは、廊下ですれ違ってもなかなか反応が出せずにいた生徒でしたが、まわりの人の動きに注目して対応できる力がついて「成長したなあ。」と感じていました。

一人一人異なる授業風景ではありますが、共通しているのはどの子供も成長しているということです。苦手な活動から逃げるようにしていたあの子がね…、いつからこんなにきれいに文字が書けるようになったの…、作業に取り組めていたけれど真剣な目で集中してできるようになったなあ…と日々感じています。来校されたお父さんやお母さんには気付いた成長の話をさせていただくようにしています。また、指導の積み重ねや取り組み方に工夫をされている先生方には、成長していると感じた姿や工夫されていると感じた指導について伝えるようにしています。校内で子供たちが成長していると思います。成長のあんなことやそんなことをたくさん発見できることに期待しています。ご家庭でもお子さんの成長を感じたら「こんなことができましたよ」と教えてください。楽しみにしています。